

IV 生涯学習社会をつくる  
1 生涯学習・社会教育の総合的推進

(1) 社会教育活動の推進 <<施策23>>

社会教育課

平成29年度 施策の基本的なねらい

- ◇ 高度化、多様化する県民の学習ニーズに応えるため、よりよい学習環境を提供します。
- ◇ 県民の学習ニーズや社会的課題に対応した学習機会を提供するとともに、学習成果を活用する機会の充実を図ります。
- ◇ 県民の学習に対する意欲を高め、主体的な学習活動を促進するため、関係機関、団体（PTA・子ども会など）との連携・協力体制を強化します。

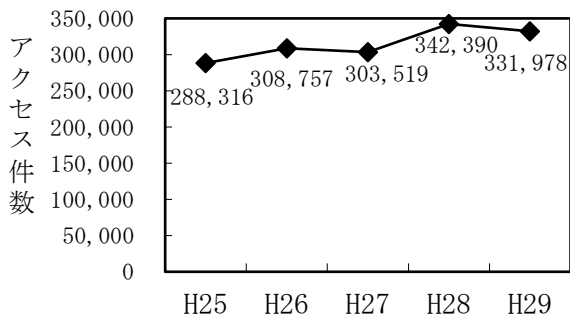
平成29年度 主な取組・事業

取組・事業名	実績
NPOやボランティア団体との連携・協力の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ みんなで育もう！ふくおかの子ども育成支援フォーラム 参加者 135 名</li> <li>○ 中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会の開催（2日間） 参加者延べ 662 人</li> </ul>
社会教育関係団体等に対する育成支援・補助	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 公共性のある適切な活動を行う社会教育団体への助成 10 団体</li> </ul>
社会教育関係職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市町村新任社会教育関係職員研修（2回）参加者延べ 142 人</li> <li>○ 社会教育専門研修（3回）参加者延べ 136 人</li> <li>○ 県社会教育主事等研修会 参加者延べ 182 人</li> </ul>
県立社会教育総合センター等での学習情報の提供及び学習相談の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ふくおか社会教育応援隊派遣回数 1,225 回</li> <li>○ ふくおか社会教育ネットワーク アクセス件数 331,978 件</li> <li>○ メールマガジンの配信 年 8 回（登録者数約 470 名）</li> </ul>
現代的な課題に関する学習機会の提供とボランティア活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 現代的課題対応研修 「学校とともにある地域づくり・人づくり推進セミナー」（2回） 参加者延べ 138 人</li> <li>○ 環境ボランティア養成研修 in 英彦山（2回） 参加者延べ 59 人 ※九州北部豪雨のため 1 回中止</li> </ul>

指 標

指 標	指 標 の 概 要	現 状 値	目 標 値	達 成 状 況
社会教育に関する学習情報提供の充実	「ふくおか社会教育ネットワーク」へのアクセス件数	331,978 件 (H29 年度)	300,000 件 (毎年度)	◎

ふくおか社会教育ネットワークへのアクセス件数



**成 果** 社会教育関係職員・団体等を対象とした研修会をとおして、学習のニーズや社会的課題に応じた学びの場を提供することができました。

- ・ 中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会では、地域の様々な課題を解決するため、行政だけでなく、NPOやボランティア、企業等地域で活動を行う様々な団体等が集い、生涯学習・社会教育に係る実践協議を深めるとともにネットワークを築くことで、地域の連携・協力体制の充実と教育環境整備、地域の様々な課題の解決に役立てることができました。
- ・ みんなで育もう！ふくおかの子ども育成支援フォーラムでは、家庭教育や子育て支援に関わる個人や団体、行政担当者が集い、学習や交流を通して、家庭教育や子育て支援等の在り方を考えるとともに、参加者同士のネットワークの構築を図ることができました。
- ・ 社会教育関係団体へは、助成を行うだけでなく積極的な情報提供等を行うことで、各団体の特色ある活動を生かした地域における社会教育振興につながりました。
- ・ 市町村や学校等からの要望に応じて社会教育主事を派遣し、家庭教育支援や青少年教育等、社会教育に関する情報提供や学習方法の提供を行いました。また、「平成29年度福岡県社会教育関係事業事例集」を作成し、各市町村・関係機関等に配布することで、事業内容の周知につながりました。
- ・ 「ふくおか社会教育ネットワーク（HP）」において、県内外の社会教育に関する先進事例や研修会情報、講師情報や調査研究結果等、様々な学習情報を提供し、県民の学習ニーズに応える工夫を続けたことで、アクセス件数の増加につながりました。
- ・ 県民の学習ニーズや社会的課題に対応するための基礎研修や専門的研修を実施することで、参加者の資質・能力の向上を図るとともに、関係者同士のネットワークづくりにもつなげることができました。

**課 題** 地域の人材育成・課題解決と社会教育の振興につながる研修の充実が求められています。

- ① 家庭教育や子育て支援、子どもの貧困問題、環境問題等、現代的な課題の解決につながる研修が求められています。
- ② 社会教育関係団体等と密に情報交換を行ながら、さらなる連携・協働を図る必要があります。
- ③ 県民のニーズに応えられるよう積極的に情報を収集・発信する必要があります。

**対 応** 学習情報の提供、学習の場の充実を図ります。

- ① 生涯学習・社会教育関係者やNPO団体、さらには大学関係者や企業等様々な立場の人々に対して、学習のニーズを把握し、課題解決につながることを目的とした学習と交流の場を設定していきます。
- ② 社会教育関係団体に対して学習情報の提供を適切に行い、より多く情報交換を行えるよう努めます。
- ③ 市町村職員、ボランティア等、社会教育関係者が地域の課題解決や社会教育振興に資する研修の充実を図ります。

IV 生涯学習社会をつくる  
2 生涯学習・社会教育環境の整備

(1) 社会教育施設の充実 <<施策24>>

社会教育課

平成29年度 施策の基本的なねらい

- ◇ 社会教育を振興する県立社会教育施設の機能充実と利用促進を図るとともに、県民のニーズに対応できるように社会教育関係職員の専門性を高めます。

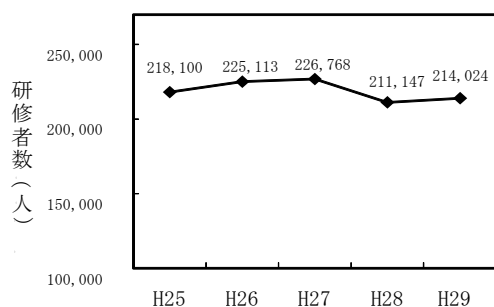
平成29年度 主な取組・事業

取組・事業名	実績
県立社会教育施設の機能充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県立社会教育施設における事業内容改善、体験プログラムの開発</li> <li>○ 県立図書館 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遠隔地サービス利用数 14,037 冊</li> <li>・ 学校貸出図書セット 6,920 冊 (173 セット×40 冊)</li> <li>・ レファレンス受付数 64,416 件</li> </ul> </li> <li>○ 県立図書館および公立図書館等の相互ネットワーク構築 貸出借受冊数 22,422 冊</li> </ul>
県立社会教育施設の利用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県民の利用促進を行うため、企業や大学等への周知、広報活動の充実と開所日数の増加 社会教育総合センター、英彦山青年の家、少年自然の家「玄海の家」の開所日数 1,012 日 (計画 999 日から 13 日増)</li> <li>○ 県立社会教育施設 (社会教育総合センター、英彦山青年の家、少年自然の家「玄海の家」、3 施設) 研修者数 214,024 人</li> <li>○ 県立図書館 図書館貸出冊数 459,961 冊 入館者数 375,160 人</li> <li>○ 青少年科学館 入館者数 301,660 人</li> </ul>
社会教育施設職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ プレイリーダー<sup>注1)</sup>研修 (福岡県子ども会育成連合会と共催) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ プレイリーダー1級 (少年自然の家「玄海の家」において2回開催) 受講者数 35 人</li> <li>・ プレイリーダー2級 (6 教育事務所において各1回開催) 受講者数延べ 253 人</li> </ul> </li> <li>○ 専門研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 郷土資料研修 参加者 24 人</li> <li>・ 参考調査業務研修 参加者 26 人</li> <li>・ 「子どもと読書」研修会 参加者 134 人 (入門講座 35 人、専門講座 99 人)</li> </ul> </li> </ul>

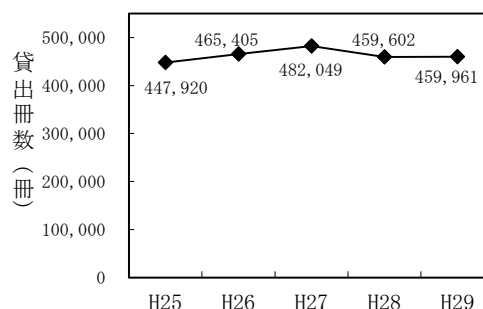
指 標

指 標	指 標 の 概 要	現状値	目標値	達成状況
県立社会教育施設の利用	県立社会教育施設の利用者数 (社会教育総合センター、英彦山青年の家、少年自然の家「玄海の家」)	214,024 人 (H29 年度)	223,000 人 (毎年度)	○
県立図書館の利用	県立図書館の図書貸出冊数	459,961 冊 (H29 年度)	460,000 冊 (毎年度)	○
	県立図書館の図書貸出利用者数	173,243 人 (H29 年度)	171,000 人 (毎年度)	◎
青少年科学館の利用	青少年科学館の入館者数	301,660 人 (H29 年度)	318,700 人 (毎年度)	○

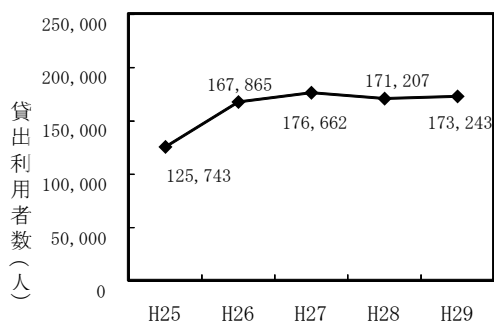
社会教育総合センター、英彦山青年の家、少年自然の家「玄海の家」の利用者数



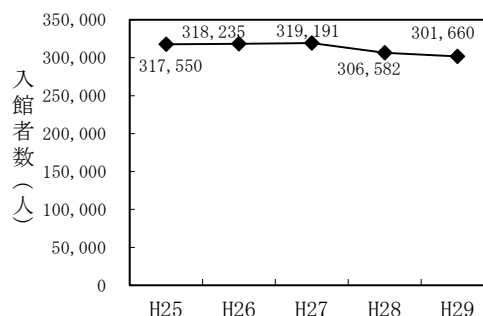
県立図書館の図書貸出冊数



県立図書館の図書貸出利用者数



青少年科学館の入館者数



**成 果**

県立社会教育施設では、県民のニーズに応える事業内容の改善やプログラムの開発に取り組みました。

- ・ 県立社会教育施設では、県民のニーズに応える事業内容の改善や各施設の特徴を活かしたプログラムの開発に取り組むなど、利用促進に努めたことで、自然災害の影響はありましたが、利用者数が21万人を超えました。
- ・ 県立図書館では、学校貸出図書セットの貸出や遠隔地サービスの充実、利用者サービスの向上によって、図書館貸出冊数を目標値に近づけました。
- ・ プレイリーダー研修を県内6か所で実施したことで、多くの専門的な知識や技能を修得した指導者を養成することができ、関係団体の活性化につながりました。

**課 題**

施設の特徴を生かし、県民のニーズに更に応えるための施策が必要です。

- ① 社会教育総合センター、英彦山青年の家、少年自然の家「玄海の家」においては、子どもの体験活動の一層の充実や指導者養成など、県民のニーズに更に応えるための施策が必要です。
- ② 県立図書館においては、福岡市東図書館や大学の移転等がありましたが、貸出利用者数は維持しています。今後の利用者増を図るためにも、更なる図書館の利用促進が必要です。
- ③ 青少年科学館においては、民間の専門機関との連携・協力を視点に、利用者のニーズに応じた、より効果的な事業運営に努める必要があります。

**対 応**

施設利用者を増やせるようサービスの充実に努めるとともに施設の機能の充実に図ります。

- ① 社会教育総合センター、英彦山青年の家、少年自然の家「玄海の家」においては、今日的課題に対応した研修内容の充実や立地条件を生かした体験活動プログラムの開発に努めます。また、施設間や地域との効果的な連携事業等を実施することで県域での事業の活性化を推進します。
- ② 県立図書館については、市町村立図書館等との連携強化を一層図るとともに、県立図書館の特徴や魅力を発信し、利用者へのサービスの充実に努めます。
- ③ 青少年科学館については県民のニーズを的確に捉え、リニューアルに伴う企画や特別展、プラネタリウム番組等の充実に図ります。

**注 釈**

注1) プレイリーダー：県において定められた内容の研修を受講し、修了証を取得した者であり、安全に配慮しながら様々な体験活動、子どもの成長に合わせたものづくりや屋外での遊び等を指導する者。